

季刊 青春本棚通信

Vol. 16



学年： 中3

ペンネーム： ハブっ子

LINEUP



※掲示板用

ビブリオバトルをやってみよう!

コロナに負けるな! 第7回松山市立中央図書館ビブリオバトル開催

本好きのコーヒープレイク 中高生にこの夏読んでもらいたい本

青春ひとことLINE ~ 図書館の人にきいてみた ~

青春☆POP便 オススメ本のPOPを作ってみよう!

図書館ダンジョン・エクスプローラー

考える本、集めてみました。

図書館投稿のススメ



2020

夏

ビブリオバトルをやってみよう!



ビブリオバトルは友だち同士で気軽に楽しめる『本の紹介コミュニケーション』ゲームなのじゃ! ルールは下のとおりカンタン! ゲームの勝ち負けの楽しさだけでなく、5分で本を紹介するプレゼン能力も上がるし、友だちの好みを知ったり、新しい本との出会いもあるゾイ!

ビブリオバトル公式ルール

1. ひとり1冊ずつオススメ本を持って集合!



本のテーマは原則自由。ただし「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じく本の種類も制限可。(コミックや雑誌はNGなど)
大事ことは、必ず自分が読んで選ぶこと!



2. 開戦! 順番に制限時間5分でオススメ本を紹介します。

バトルの持ち時間は厳守! 5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトルも本だけ持っていざ勝負! 原稿を読むより自分の言葉で活き活きと語れば皆の心に響くよ。バトルのほかに発表を聞いて投票する観覧者がいても盛り上がるよ!



3. それぞれの発表の後に、制限時間2分でディスカッション(質疑応答)します。



バトルの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。

4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなかったか?」の投票をし、最も多く票を集めた本が「チャンプ本」の栄誉を勝ち取ります!

全員で1人1票。バトルも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと!

コロナに負けるな! 第7回松山市立中央図書館ビブリオバトル開催



毎年恒例の『松山市立中央図書館ビブリオバトル』を10月25日(日曜日)に開催します。発表参加者は、中学生と高校生から募集します。観客の前で発表し、観客を含めた参加者全員の投票によってチャンプ本を決める、本格的なビブリオバトルです。

初めての人でも大丈夫! 大好きな本への想い、この機会に熱く語ってみませんか?

チャンプ本獲得者には特典がもらえます! 前は「図書館で購入する本を20冊選べる権利」でした。ぜひお申込みください!

日時: 10月25日(日) 午後1時~(予定)

場所: 松山市湊町7丁目5 松山市総合コミュニティセンター1階展示室

対象: 松山市内在住または在学の中学生・高校生

定員: 中学生の部・高校生の部 各部6名程度(応募多数の場合は抽選)

申込期間: 9月15日(火)~10月15日(木)

申込方法: 中央図書館事務所までFAXまたはEメールで氏名・連絡先・学校名(学年)・発表本をご連絡ください。個人・学校からの申込どちらでもOKです。



【ビブリオバトルのお申込・問い合わせ先】

中央図書館事務所 ビブリオバトル担当(※Eメールは件名に「ビブリオバトル」を入れてね)

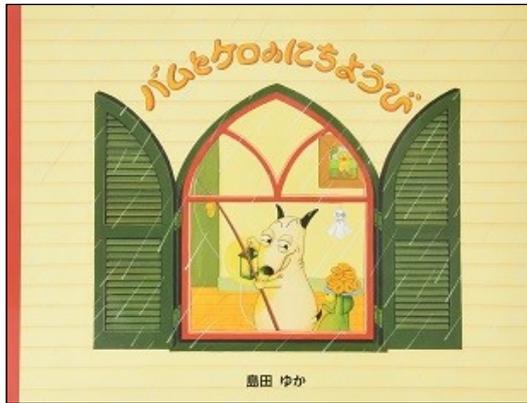
電話: 943-8008 FAX: 933-9968 Eメール: tosyokan@city.matsuyama.ehime.jp

若き世代に新たな世界の扉を開く、すばらしき読書のひとときを——

本好きのコーヒープレイク



図書館で働くオトナたちはやっぱり本が大好き！そんなオトナたちがホッと一息つくコーヒープレイクに、「**中高生にこれからの夏に読んでもらいたいな**」と
思いついた本を紹介します。さあ、あなたもまだ見ぬ新しい世界の扉を開いてみませんか？



【分類番号：E-シ】

『バムとケロのにちようび』 (島田 ゆか//作 絵・文渓堂)

雨が降って外に遊びに行けないある日曜日。
いたずらかエルのケロと、何かを悟ったような犬のバムの絵本です。
家具や雑貨まで丁寧に丁寧に描かれています。
大人気シリーズなので読んだことがある人も多いと思いますが、**子どもの頃には読み解けなかったサイドストーリー**が隠されています…。
最近、大人の間で絵本の新しい楽しみとして、**美術のように鑑賞したり**、
子どもの頃には分からなかった**行間を読んだり**することが流行ってきています。
まだまだ外に出にくい期間が続きますが、そんな時の**おうち時間の楽しみ**の一つに**絵本を読んでみませんか？**

図書館 松本



【分類番号：B-F-ミイ】

『裏世界ピクニック ～ふたりの怪異探検ファイル～』 (宮沢 伊織//著・早川書房)

女子大生、空魚は自分だけが入れると思っていた**裏側の世界**で怪異と遭遇し、
死にかけていたところを鳥子に助けられた。これをきっかけに**空魚は鳥子と共に**
ネット怪談として語られる怪異がはびこる異世界を探検していくことになった。
あらずじだと普通のラノベっぽい感じですが、割と**ホラー要素強め**で、空魚も鳥子も裏側に行くたびに**SAN値ガリガリ削られまくってます**。銃で武装して行く段階でピクニックなんて軽い雰囲気はありませんが、じわじわと侵食してくる怖さとライトな百合小説を楽しみたければおすすめです。
あ、アニメ化決まっています。

図書館 本多



【分類番号：K913-ア】

『ガールズ・ブルー』 (あさの あつこ//著・ポプラ社)

夏！この季節は**海や花火等、風物詩がいっぱい**です。しかし今年の夏は、楽しみよりもどうなるのか不安が勝る方が多いのではないのでしょうか。そんなあなたに、**小説を通して、夏の思い出をお届けします！**
これは、**理穂、美咲、如月の3人を中心に、高校2年の夏**を舞台に描かれた、まさに**青春そのものが詰まった物語**です。会話の掛け合いに思わず笑ってしまったり、花火に思いを馳せたり、海での出来事に感慨深くなったり…。
私が「**夏**」といえば**これだ！！**と、とっさに思いついたこの一冊。ぜひ登場人物と一緒にこれまでの夏を振り返ってみませんか？

図書館 柴田

青春ひとことLINE ~ 図書館の人にきいてみた ~

2020年4月~6月に投稿された『青春本棚ひとことカード』を紹介するコーナーです。中学生・高校生が好きな本や図書館員のオススメ本、本探しのコツなど、見逃せない情報ばかり！ **本についてのアレコレ**是非お寄せください。(投稿の仕方は最終ページ！)



(中3・ハブっ子さん)

『たった40分で誰でも必ず小説が書ける超ショートショート講座』を読んだのですが、他に小説の書き方の本ありますか？

(図書館)



『たった40分で誰でも必ず小説が書ける超ショートショート講座』(キノブックス)は松山市出身の作家、田丸雅智さんの著作ですね！田丸さんはショートショートの第一人者で「坊っちゃん文学賞」の審査員長も務められています。『こども小説教室』(田丸雅智//著・キノブックス)も人気ですよ。『黒魔女さんの小説教室』(石崎洋司//著・講談社)も小中

学生向けに読みやすく入門に最適。また、人気の異世界ファンタジーの物語を作るノウハウが分かる『異世界ファンタジーの創作事典』(榎本秋//編著ほか・秀和システム)もどうですか？

ぜひ創作の腕を磨いて目指せ「坊っちゃん文学賞」！(9月末まで第17回作品募集中ですよ！)



(中1・はゆいたさん)

自分が何をしたいのかわかりません。『五体不満足』に自分に役割があると書いてあり、いつもポーっと人生について考えています。人生について考えられる本を紹介してください。

(図書館)



まず、これから絶対やらないといけないことは勉強です。「やらないといけない勉強をいかに楽しむか」で学生生活の楽しさが変わってきますし、大人になってからの人生も変わってくるはず。「なぜ勉強するのか」について考えてみるのが良いかも。『本当の「頭のよさ」ってなんだろう？』(齋藤孝//著・誠実堂新光社)をオススメ

します。人生について考える本は、「人生訓」というジャンルの本が適切かと思います。図書館で「人生訓」の本は背ラベル番号が【159番台】になっています。まずは青春本棚の【159番台】の本を探してみましょう。『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』(日本ペンクラブ//編・ポプラ社)など、中学生・高校生に本当にオススメしたい本が揃っています。



(高1・さくらんぼさん)

理系の職業について書かれている本はありますか？

(図書館)

最近、理系高校生の投稿が増えています。本好きは文系だけじゃないのねって嬉しいです！

『理系生活』(日本セラミックス協会//編・学事出版)は、理系職業で活躍中の先輩50人の仕事や生活がリアルに紹介されていて、すごく視野が広がる1冊です。『化学のしごと図鑑』(近畿化学協会//編・化学同人)も、化学分野で30種の職業を先輩たちが紹介してくれま



す。特に研究職や専門職は知られざるヒミツの業界潜入！つぼくてワクワクしますよ。また、理系に限らず色々な職業について知るには『もっとやりたい仕事がある！』(池上彰//著・監修 小学館)がオススメです。YouTubeなど最近の職業も紹介されていますし、分かりやすく将来の夢が広がりますよ。



(高1・緑の人さん)

氷菓や小市民シリーズのような人が死なないミステリーがあったら教えてほしいと思います。

(図書館)

死なないミステリー、これまでも北村薫さんの円紫さんシリーズ、河野裕さんの階段島シリーズなどご紹介しましたが、他



にも、坂木司さんの『青空の卵』(東京創元社)や『和菓子のアン』(光文社)、『珈琲店タレーランの事件簿』(岡崎琢磨//著・宝島社)『万能鑑定士Qの事件簿』(松岡圭祐//著・角川書店)はどれも鉄板です。最近では『ケーキ王子の名推理(スペシャリティ)』(七月隆文//著・新潮社)もオススメです！

